



あ・そうかい通信

あ・そうかい 会報

第7号

2016年10月24日

発行：あ・そうかい

編集：運営委員会

@さろんでアイデア続々！

毎月一回、木曜の夕方に新たな楽しみができた。6月から始まった「@さろん」は、これまでになかった場として好評のうちに回を重ねている。

きつとここから新しいものが生まれるだろう。そんな予感も抱かせる試みだ。細かい決まりは何もない。午後5時から「やまゆり」一階サロンで、というだけで、出欠の連絡も必要なし。自分たちで床にシートを敷いてテーブルを並べ、コンビニで飲みものと簡単なつまみ類を割り勘で買ってくれば準備完了。後は三々五々、メンバーが集まってくるのを待てばいい。

というわけで、なんとも単純明快な催しだ。が、実はこれ、多くの会員が求めていたものでもある。以前からしばしばあったのが「気軽に集まれて話ができる場所があればいいのに」の声だった。ちよつと大げさに言えば、これは「みんなの夢の実現」なのである。



準備完了、さあ乾杯！（9月29日）

ここまでは毎回、20人ほどが参加している。およそ2時間、にぎやかな話し声がときどきし合ううち、「じゃあ今度はこんなことをやろう」と新たな分科会の構想も出てきた。「例会でこの話をしたら」という提案も生まれている。これはまさに、楽しいアイデアが次々と飛び出す「大人の宝箱」なのだ。まだ参加していない人も、「ああ、そういえばきょうは・・・」と思い出したらぶらりとやまゆりをのぞいてほしい。扉の向こうで笑顔が待っているから。

@落研報告

ことしから新たに始まった分科会のひとつが「落研」。

北川リーダーの好企画のもとまずは地元の「しんゆり寄席」に2回行った後、9月20日には国立演芸場（東京・半蔵門）で昼席を楽しんだ。台風16号の接近をものともせずに参加したのは、落語愛に燃える？8人。前座からトリまで笑いつ放しの3時間半を過ぎた。落語だけでなく漫才、奇術も。中でも奇術のダーク広和の鮮やかな手並みには一同感嘆しきり。今後も寄席や独演会に出かけるほか、有名な演目の「大山詣り」にちなみ、打ちそろって大山に行く計画もある。さて、どんな珍道中になるのか？！



国立演芸場：緞帳

文：佐藤次郎 写真：上治信義

魚眼・複眼

我々の「キーワード」は健康寿命という言葉であろう。そこでパー3会の皆さんに心強いメッセージが！ スウェーデンで発表された医学論文では「ゴルフを楽しむ人の平均寿命が、一般の人よりも5年も長い」という。

ゴルフは激しい動きは伴わずそれでいてウォーキングと同じ有酸素運動や日常にはあまりない捻転運動もあり、バランスの良いスポーツ。かつゲーム性があるので脳も使い、同好の士と競い合うという楽しみがある。同好の士を持つ、いい仲間をつくるというのも非常に重要なことで、日々の楽しみがあるということが意欲につながったり、脳を活性化させたりする。ゴルフの他にも多くの分科会がある我々の活動を大いに楽しみましょう。

